こにはあるからだ。

登山は、個としての営みであるが

らえ方では済まされない歴史が、

7

ドイツがナンガパルバッ

イタリアがK2、

スイスがローツェ、

ダウラギリの

周年を記念(彼は初登頂時の隊長だ

アイゼリンがダウラギリ初登頂二十

九八〇年春、スイスのマックス・

の存在が大きな力となった。 れした優秀な登山ガイド、

ンジュンガの二座、

本山岳会百周年、という、内輪のと ではないか、と私は思っている。

B

イギリスがエベレスト、

カンチェ

フランスがアンナプルナー、

マカ

りわけ日本人にとって面白いテー

なるが、登山と登山観の変遷は、と ズムが日本に入って一世紀あまりに になり、この一世紀の回顧、

総括が

一十世紀もあと四年、ということ

斉にされている。

ヨーロッパ諸国で育ったアルピー

ッパ人の争いでもあった。

結果として、

峰の初登頂は、

栄光をめざすヨーロ

# 当と明日のヒマラ

#### 江本嘉伸

は過去の事例が証明している。 が、しばしば国家、あるいは大きな 故に尊く、深い。しかし、その行為 組織体の宣伝材料となってきたこと たとえば、十四座の八千メートル

||八千メートル峰の初登頂は

ヨーロッパ人の争い

の二峰だけだ。 初登頂が終わると、 難ルート、

ルパイン・スタイル」が最高のもの ド、ユーゴスラビア(当時)など社 国内で腕を磨いた、ソ連、 済力をつけた日本のクライマーや、 季登攀、無酸素登頂などをめぐる個 会主義国の登山家たちが参入した。 人クライミングの時代になった。 第一線のクライマーの間では「ア ポーラン 経

シャブルムⅡ、ブロードピークの オーストリアがチョーオユー、 ガ

中国人のシシャパンマ(六四年)、 千メートルとしては最後に登られた 日本人のマナスル(五六年)と、八 アジア人が初登頂の栄誉を得た山は、 という。配分になった。 ヒマラヤはアジアに位置するが、 アメリカがガッシャブルムー、

の発展した形だともいえる。高度慣

シェルパ

ガイドつき」登山があるから、そ

ヨーロッパ・アルプスには昔から

なく、スピード登攀、連続登山、 リエーションも追及された。 キーやパラパント滑降など方法の とみなされ、ルートの難しさだけ

#### 通信手段の発達で 加速する公募登山

想そのものは新しいものではない。 たのは、八〇年代前半のことだ。 いわゆる「公募隊」である。 にわかにクローズアップされたのが ヒマラヤで公募登山が頭角を現し その一方で、静かに潜行し、 ス で

1997年 (平成9年) (No.628) 9 묵 山岳 本 В The Japanese Alpine Club

#### 目 次

**公募登山と明日のヒマラヤ………** 

ダウラギリ I 峰登山隊の壮行会…3
第39回有志閑談会3
追悼・福田宏年先生を偲ぶ5
報告
科学委·夏山気象入門第3回…6
東西南北
死んで花実が咲くものか7
第6回海外遠征隊・新島8
野鼠との遭遇8
短歌・大台を行く9
ウエストンとモースの所蔵写真9
図書紹介10
『日本アルプス』『ピッケルと口紅』
『たかが山登りされど山登り』『山
を楽しむ地図読本』『山とつき合
う』『アルプス4000m峰登山ガイド』
平成9年度海外登山基金助成登山計
画募集11
書籍受入報告・新入会員12
会務報告13
会員異動・ルーム日誌14
INFORMATION ······15

日本山岳会事務取扱時間 月・火・木・土曜日 水・金曜日

10~20時 13~20時

▶図書室開室時間

日曜・祭日・月曜日を除く毎日

13~20時

八千メートル峰公募登山の先がけたなった。

同Ⅱ峰へはフランスの公募隊が入山 同Ⅲ峰へはフランスの公募隊が入山 日Ⅲ峰へはフランスの公募隊が、 エベレストへの最初の公募隊が、 の二十五人が参加したが、この時 国の二十五人が参加したが、この時 国の二十五人が参加したが、この時 は南峰が最高到達点となった。 アイゼリン・スポーツはこの年カ ラコルムのブロードピークへも公募 隊を出している。また、ガッシャブ 隊を出している。また、ガッシャブ

大限に機能を発揮する。カトマンズ 大限に機能を発揮する。カトマンズ 大限に機能を発揮する。カトマンズ 大限に機能を発揮する。カトマンズ 大限に機能を発揮する。カトマンズ 大限に機能を発揮する。カトマンズ

ている。

う。それでも、参加費は五万六千ド としてポピュラーになったチョーオ 遭難が、厳しい教訓になったのだろ うたっている。昨年五月の公募隊の けは頂上までガイドはできない」と ンバーの体調による。エベレストだ み。頂上は、あくまで好天と参加メ して高くはないのかもしれない。 プ、衛星通信システムつきで、夢の 車、コック、テント、酸素、固定ロー は一万二千五百ドル(約百五十万円)。 ユーの、ラサーカトマンズ間の値段 八千メートルに登れるのだから、 公募しているが、こちらは「六人の 「熟年でも登れる八千メートル峰」 このグループはエベレスト登山も (約六百七十万円)になる。 決

するなど、徐々に「八千メートル公

# ▼ガアの登山家の登場

軽量、かつ容量の多いロシア製酸素機動性に優れた大型へリコプターや機動性に優れた大型へリコプターや機動性に優れた大型へリコプターやでし、かつてソ連軍が使っていたが、当段は見過ごされていることだが、

計画を知ることもできる。

アメリカの「国際山岳ガイド」と

や東京にいるほうが情報は早い。やラサにいるよりも、ニューヨーク

インターネットを通じて、当面

ヒマラヤに登場した。
はマラヤに登場した。
はマラヤに登場した。

そして、九〇年代に入ってからは そして、九〇年代に入ってからは 発済力をつけたASEAN(東南ア 経済力をつけたASEAN(東南ア ジア諸国連合)諸国が、次々に八千 メートル峰、とくにエベレストに名 メートル峰、とくにエベレストに名 メートル峰、とくにエベレストに名 メートル峰、とくにエベレストに名 メートル峰、とくにエベレストに名 ま、シンガポールでは来年、九八年 き、シンガポールでは来年、九八年 き、シンガポールでは来年、九八年 き、シンガポールでは来年、九八年 き、シンガポールの頂上に立った人間は、 エベレストの頂上に立った人間は、 まもなく延べ千人に迫ろうとしてお り、一般ルートからの登頂に登山史 り、一般ルートからの登頂に登山史 り、一般ルートからの象徴として、世界 興国家は、一つの象徴として、世界 最高峰をめざすだろう。

求められるものは……これからの登山家に

だった。

「本外の山」を
にいたが、はじ
をいたが、はじ
をいたが、はじ
をいたが、はじ
をいたが、はじ
をいたが、はじ
をいたが、はじ

言ってくれた。

「アジア人のヒマラヤ」を予感してマラヤ進出めざましい隣国登山界のマラヤ進出めざましい隣国登山界のマラヤ

疑問を抱くものでもある。はないが、ものみなヨーロッパに発はないが、ものみなヨーロッパに発

国際山岳連盟(UIAA)の総会

れる内容は、山に挑戦する、克服すれる内容は、山に挑戦する、克服するであった。

アジアの中ではヨーロッパを追い上げてきた日本としては、国を挙げての登山はとうに終わり、一山岳会、一つの県や市、大学といった大小さまざまなレベルの組織を背景にした、あるいは仲間同士の、「気楽なヒマラヤ」が主流だ。

本来登山の持つ、不条理な価値を

されていい、と考える。 そして異民族とのコミュニケーショ 以上に、山岳の歴史と文化への理解 のヒマラヤ登山実践者は、これまで 何をすればいいのか。私はこれから う、とは考えたくないが、さらなる ヤの峰々が百名山並みになってしま が広がっている現状がある。ヒマラ ろう。実際、その"狭き門"をたどる 追求してゆけば、実は高峰の難ル ン術、つまり "知のレベル" が要求 イカーで終わりたくない登山家は、 トへの単独行しか選択肢はないであ ームがあり、ヒマラヤでは公募登山 大衆化」が進むことは間違いない にはなれないが、ヒマラヤン・ハ そういう時代に、ソロ・クライマ しかし一方では、国内の百名山ブ ロ・クライマーもわずかだが、いる。

びだからこそ、知のレベルが問われ 重要な一つである。昨年チョモラン るのだ、と言いたい。言語力はその 示唆している。 誤解によるトラブルは、そのことを マで福岡隊とインド隊の間におきた たかが遊びで、というのなら、 遊

シェルパに日本語を教え込んで"だ 堪能者が、国際的な場で重要な役割 んな気分になる者もいる。それら を負わされることがしばしばあった。 っているわけでもない、一部の英語 日本では別に登山に深い思いを持

> ければならない。 いの深さこそが、何よりも問われな は恥ずかしいことである。山への思

にも知られていた「山岳年鑑」も「九 じめ海外登山の動向をまとめ、外国 ることに貢献した。毎年ヒマラヤは は、日本の登山の知的レベルを下げ と溪谷社の「岩と雪」の廃刊(休刊?) とって得がたいメディアであった山 五年版」でストップしたままだ。 真剣に山に向かおう、とする者に

てほしい、と。 見据えた、高いレベルのものであっ になろうと、日本の登山界の未来を なものにとどまらず、いささか辛口 が、過去を称える内輪の自己満足的 現在企画している「創立百年」行事 っとあるのではなかったのか。 から期待して、本稿をしめくくる。 と思う。ヒマラヤに学ぶものは、 私たちは、その程度のものなのか、 日本山岳会の会長と理事会に、心 t

### ダウラギリI峰登山隊一九九七 盛大に壮行会を開催

会員、隊員の出身大学山岳部関係者 の壮行会が午後六時より、学習院大 部「ダウラギリI峰登山隊一 た。台風九号が接近する荒天の中、 学百周年記念会館小講堂で開催され 七月二十六日出、日本山岳会青年 九九七



北壁ペアルートを説明する松原尚之隊長

#### 松原尚之隊長が挨拶に立ち、昨年の 国し、必ず次のステップに継承して 貴重な経験を積んで、全員無事に帰 拶に立ち、励ましの言葉とともに、 ら七十名が参加して盛会であった。 いってほしい、と希望を述べた。 山田二郎元会長の乾杯の音頭の後、 まず日本山岳会斎藤惇生会長が挨

# 第三十九回有志閑談会 個性豊かな先輩たちの思い出を語る

触れるなかで山岳会の伝統の一端を 聞き、先輩たちの逸聞や人となりに た。長老の会員を囲んで親しく話を ■三十六名が出席して…… 第三十九回有志閑談会が六月十四 小石川後楽園・涵徳亭で開かれ

られてきた恒例の行事である。

惇生会長、小倉茂暉・大森薫雄両副

五月総会で新任されたばかりの斎藤 誉会員、織内信彦名誉会員をはじめ、 長が抱負を述べた。 チェンジュンガ登山が理事会で承認 バーはこの難しい登山に全力で取り 踏まえ「これまでより一歩新しいこ K2南南東リブ・ルートから十二名 されたことが報告され、 激励の言葉が寄せられた。 隊員、松本惠マネージャーの自己紹 組みたい」と力強く決意を表明した。 ンルートから、酸素と高所ポーター とへ挑戦するために、バリエーショ の登頂者を出すことができた成果を お礼の言葉と併せて、来年度のカン 介のあと、それぞれ出身大学OBの な説明がなされた。 を使わずに頂上を目指す。参加メン 一、椎名厚史、川高雄、板谷耕介各 洋梨)ルートの登路について詳細 最後に、青年部宇田川芳伸理事の 棚橋靖副隊長、松本伸夫、奥田仁 続いてルート図を示し、北壁ペア 谷川太郎隊



日、蔵書とともに家が焼けてしまっ 五月にもらった葉書です。四月十四

たことを非常に嘆いて、くれたもの

中、負け戦になっていた昭和二十年 いただいたが、これは戦争の真っ最 面を知る一枚の葉書を紹介した。

「藤島さんからはたくさんの手紙を

ったことにちなみ、この大先輩の 氏が亡くなって二十年、生誕百年だ って織内名誉会員は、去年藤島敏男

指名を受けた語り手のトップを切

食しながら自由歓談がはずむ。

■戦時中の藤島敏男氏の葉書

誉会員が九十二歳とは思えぬ若々し た。出席者中最高齢の今井喜美子名 会長も出席、総勢三十六人が集まっ

い声で乾杯の音頭をとって開宴。

会

です 版本、ドウ・ソーシュールの一七 ウインパー、マンメリーの初

の山の写真、ネガティブ、シェン ベルゲンに関するもの、三十年間 やワインも何ダースか。 その他にウイスキーやコニャック アイゼン、スイス招来のスキー、 エッケンシュタインのシュタイク クのピッケル、シモンのピッケル、 日本の山岳文献の稀購本 スイスの山のポストカード コーカサス、アンデス、スピッツ 〇〇年代の四冊本も、ヒマラヤ、 (略)、 (略)、

崩壊といふ始末で、全く茫然自失 後のたのしみも消失し、生活設計 物一切喪に帰し、過去が一瞬にし の態です。(略) て空白になったばかりでなく、今

何をか言はんやです。 言ひたいところでせうから、 歎きなど、寧ろ我が意を得たりと もとより、趣味に囚はるる人間の れば、物持ちや、上流層の没落は ある裸一貫の勇ましい連中からみ 戦の推進力であり、立て役者で

思う」と結んだ。 を言っている。私は非常にえらいと 軍登山とか権力におもねる人が大勢 閲が厳しかった当時、これがむきだ いたなかで藤島さんはこういうこと しの葉書でくる、山の関係者でも行 りです。(以下略) 読み終わって織内名誉会員は「検 いで貰ひたいと、それを祈るばか 不祥事が、この国に丈は現出しな 摺ってゆくといふような罪の深い、 に際しては、国民をも道伴れに引 を起こし、力及ばずして没落する 達の面目や地位確保のために戦争 唯この上はナチスの如く、自分

# 一九州最初の百名山完覇

の百名山完登者かなと思うが……」 本百名山を完覇した。九州では最初 私は去年の十月十九日をもって日 九州から参加した吉村健児会員は、

一十五年間蒐集の想い出の絡む

うだが、いかがなものか」と述べた。 録なら、私は最長というか五十四年 るのは地理的条件でいかに困難が多 だ百山であって日本の百名山ではな 間かかっている。最近は百名山がコ 山を選んだ。「百二十三日が最短記 が飲める山」ということで会津磐梯 は昭和十七年八月十七日で伯耆大山 いかを解説。吉村会員の百名山初登 と前置きして、九州から百名山を登 だ百名山で、個人のものであるべき にしばし花が咲く。「深田久弥の日 マーシャリズムに利用されているよ 最後の山として「楽しく山友達の酒 い」「山梨百名山というのが行政サ 本百名山というのは深田さんが選ん イドで出たが、あくまでも私が選ん この発言を契機に日本百名山論議 いい山はそれぞれの心にある」など。 エピソードいっぱいの初見さん

端を話す。 が、それぐらいなら暴走しても知れ したら止まらないところがあって、 れ」について。「初見さんは走りだ 員の初見一雄氏の「学問へのあこが ているけれど、学問へのあこがれ、と 上高地の地回りなどといわれている いう執念は最たるもの」と、その 松丸秀夫名誉会員は、物故名誉会

めに、エゾ山鳥の原始の形の見られ の『エゾ山鳥の生態学』の研究のた 「北大森林動物学の学生のとき卒論

るカラフトの中央高地に三か月滞在した。ここは集落もなければ村もない、人が住んでいないところ。それで三か月どこに泊まったかと聞けば、で無獄部屋に泊まっていた』といって我々をギョッとさせた」など珍しいエピソードは続く。

次の発言は柴田初子会員。柴田会民の姉上。モンブラン登頂を記念して日本山岳会入会。喜寿の祝いと弟さんの追悼をかねてヒマラヤのアンナフロウのトレッキングをしたことなど体験を語った。

# ■今西元会長はエゴイスト?

斎藤会長は関西出身者として、先 ・今西錦司元会長の思い出を ・でいられた。パイオニアの精神をも でいられた。パイオニアの精神をも でいられた。パイオニアの精神をも って山に登られた。そして日本山岳 会というものを大変愛しておられた ことに私は影響を受けた。今西さん と山に行き出したのは遅く、一九七 と山に行き出したのは遅く、一九七 と山に行き出したのは遅く、一九七 と山に行き出したのは遅く、一九七 ということで医者としてついていっ ということで医者としてついていっ たのがはじまり」

しんでいるのを感じて同行するようと目の当たりにして、山を心から楽いは、ヤッホー、を三唱して降りるの唱、みんなを集めて一杯飲んで、帰唱、みんなを集めて一杯飲んで、帰いっしょに登って、頂上で万歳三

今私も分かる年になってきた」でなったが、なぜ登頂の数を追うどになったが、なぜ登頂の数を追うどになったが、なぜ登頂の数を追うといると、一生懸命登った気持ちが、た山をと、一生懸命登った気持ちが、

「三国合同登山の出発直前、小便が出なくなったと呼び出され行ってみると、膀胱がパンパンに腫れていたので導尿一五〇〇CC。小便が少なくなったら、これで酒が飲めるなどなったら、これで酒が飲めるなどもあるかないかわからない状態のときに、ヒマラヤから持ち帰ったアンモナイトを握らせたら、ホッ、大きいな、と顔を紅潮させて遠くを眺きいな、と顔を紅潮させて遠くを眺めるような表情をされた。山ということで意識が戻ってヒマラヤの白い雪を思い浮かべたのではないかと思った」と思い出は尽きない。

最後に「エゴの樹を今西さんの樹と呼ぶ――心は勝手気ままなエゴイスト」という、知る人ぞ知る逸話で、自分のしたいことだけをし通したこの先輩の個性を伝え、話を閉じた。他に堀田弥一、渡辺兵力両名誉会員、片岡博会員、大森副会長、小原晴子・西丸震哉会員らの発言あり。寺回の世話役を務めてくれた高田眞哉、武田満子両会員のリードよろしく、賑やかなうちに"閑談"の二時に過ぎた。 (岩堀瑞子)

# 福田宏年先生を偲ぶ



中村太郎

一九九七年六月八日、福田宏年先生が急逝された。享年六十九歳であった。亡くなられる少し前、立教大った。亡くなられる少し前、立教大った。亡くなられる少し前、立教大った。亡くなられる少し前、立教大った。 世紀ではいけない」というような趣らの話をされた。 先生もお年かなあら、思ったものである。

先生は、松方三郎、神原達両氏に先生は、松方三郎、神原達両氏にしかし、後日退会された。理由は知しかし、後日退会された。理由は知いかがですか」と申し上げると「もらない。私が「山岳会に復帰されてらないがですか」とのお答えであった。

河でピッケルを振るわれた。私が鯵ラヤのバルンツェにも同行され、氷うとう、山野井、大倉君たちとヒマ生と一緒に、よく山に登られた。と生と一緒に、立教の山岳部長の頃、学

坂、牛窪君たちと、日本人として初めてカフカスに入り、エルブルスに 登頂したことや、帰途、中央アジア に回り、サマルカンド、タシケント、 だのも、先生が下地を作ってくださ たのも、先生が下地を作ってくださ

先生には、著書、訳書が多数ある。 、探検関係のものを少々挙げてお こう。「バルン氷河紀行」、「山のこ こう。「バルン氷河紀行」、「山のこ こう。「バルン氷河紀行」、「山のこ でラヤ」、ディーレンフルト「ヒマラヤー第三の極地」、ハラー「チベットの七年」、ティッヒー「無名峰の りの七年」、ティッヒー「無名峰の

井上靖の女婿である。 サ上靖の女婿である。 サ上靖の著書の解題がある。

先生は、立教大学に一九五五年から七〇年まで在職、ドイツ文学科のら七〇年まで在職、ドイツ文学科の創設に貢献された。山岳部の学生に創設に貢献された。山岳部の学生に中にはドイツ文学科を卒業した者もいた。六九年の大学紛争の中「学生いた。六九年の大学紛争の中「学生に自己批判などできるか」と啖呵を切って立教を去る。

た。ご冥福をお祈りする。中央大学では文学部長、総長候補に中央大学では文学部長、総長候補に中央大学では文学部長、総長候補に

# REPORT 9月

### 「夏山気象入門」 第三回

# 日本気象協会・城所邦夫

天気図と観天望気

いて説明する。 望気を行う)の一つ、観天望気につ 気予報を聞く、天気図の作成、観天 山における天気判断の三本柱(天

利用されやすい「雲」を取り上げる。 象もあるが、今回はその中でも最も 素は、大気現象のほかに動植物の現 この観天望気とほぼ同様なものに、 今後の天気を予測する手段である。 で感じたり、目で確認したりして、 よる天気予測もある。観天望気の要 古くから語り継がれてきた「諺」に 「観天望気」とは、自然の現象を身

# 、雲形とその種類

されている。まず高さ別に、上層の るが、基本的には十種類の雲に分類 雲は千変万化といろいろに変化す

> 日本山岳会の各委員会 同好会の活動報告です。

称および雲型などの特徴がある。 として層積雲(うね雲)、層雲(き 雲) とに分れ、それぞれの名称や俗 り雲)、積雲(わた雲)、積乱雲(雷 の雲に高層雲(おぼろ雲)、乱層雲 ろこ雲)、巻層雲(ひつじ雲)、中層 雲として、巻雲(すじ雲)、巻積雲(う (あま雲、ゆき雲)、そして下層の雲

は時雨性となる。 呈し、輪郭がはっきりしない。そし きりし、「層」はベール状や煙状を れぞれ「積」や「層」のつく雲があっ 頭に「層」や「積」の頭文字がつい 中層の雲の頭に「高」、下層の雲の て降水の型は、「積」は俄雨性、「層 て、「積」は丸みを帯びて輪郭がはっ ていること、また各層の雲には、そ 名称では、上層の雲の頭に「巻」、

二、変化を伴ういろいろな雪

表的な変化雲として、波状雲、レン いろいろな型になって出現する。代 気象条件によって雲型が変化して、 基本的な十種の雲は、そのときの

高い山においては、これらの上・

\*六月五日実施

出席者十

名

て述べる。

①温暖前線に伴う雲と雨

と、ついには乱層雲に変化して降水 状の雲が出現する。基本的には温暖 うな雲の変化傾向が生じるので、雲 や低気圧が接近してくると、このよ ると巻層雲へ変化する。そして次第 雲は低気圧の中心に向かって近くな ような構造を呈し、そのときに層雲 り、この前線は暖気の勢力が強く、 って、悪天接近を知ることができる。 の段階的な変化を追跡することによ に高層雲となって高度を下げてくる 前線の先端では巻雲を伴い、この巻 前方の寒域の上を滑り上がって行く 方向の東または南東方向にのびてお (時雨)を伴うようになる。温暖前線 温暖前線は低気圧の中心から進行 の中で、旗雲と滝雲は晴天時に出現 行機雲、旗雲、滝雲などがある。 ズ雲、吊し雲、笠雲、くらげ雲、

伴っている。このため、これらの不 暗示させる雲として注目される。 続線は雲を伴ったり、降水現象を 三、温帯低気圧に伴う雲の変化 変化(天気の下り坂、天気の急変)を しやすく、その他の雲は今後の天気 連続線に伴う雲と降水の特徴につい 前線、寒冷前線)を伴い、この不連 気圧は、ほとんどが不連続線(温暖 日本付近のような温帯地方での低

の中腹にかかる雲海の乱れや、モヤ 中層の雲の変化とは別に、山麓や山 いる。このように上、下方向から雲 な悪天が間近となることが知られて にのって高度を増してくると本格的 雲に変化した後、不安定な上昇気流 がかった現象から次第に層雲や層積 北岳、八ヶ岳などの例を示した。 して、富士山、岩手山、八方尾根 する。このサンドイッチ型の実例と で、この現象を、覚えやすいように に包まれるようになると悪天は確実 サンドイッチ型」と名付けて注目

るということができる。 の天気状態ですんでしまう傾向にあ れないと悪天には至らず、そのとき たは下方のどちらかの条件が満たさ のサンドイッチ型にならず、上方ま 一方、逆の発想の見方として、こ

②寒冷前線に伴う雲と雨

地などについて紹介した。 川岳、榛名山、後立山連峰、 じる。この実例として、三ツ峠、谷 い、また、気温や風向きの急変を生 には強い俄雨や雷、ヒョウなどを伴 積雲上の雲(積乱雲)を伴って、時 暖気を急上昇させるために発達した 前方の暖域へ潜り込むように侵入し、 り、この前線は寒気の勢力が強く、 の西方向または南西方向にのびてお 寒冷前線は低気圧の中心から後ろ

### 東 西

願いします 稿ください。(紙面に限りがありますので、 詩などを掲載するページです。どしどしご投 会員の皆様のご意見、エッセイ、俳句、短歌 点につき二〇〇字詰原稿用紙五~六枚でお



イラスト 野田四郎

# 死んで花実が咲くものか

#### 鷲頭

題する意見記事が載った。 に「登山における未帰還の成功」と 本会機関誌「山」(九年三月号)

論旨と理解する。 全員生還が条件である、というのが 登山における成功とは登頂に加え

ちがよかった。 成功したかのように報道するマスコ も、登頂者や、登頂にかかわった共 この記事は一陣の涼風のように気持 ミの態度も苦々しく思っていたので たことにはならないと思う。登頂に 同行為者が死んでしまえば、登頂し 私など通常の人間が単純に考えて

事故登山への提言」と題して、その 事が『山と溪谷』(七月号)に「無 その後、同じ筆者による同様の記

> 地図が塗り変わる」という筆者の殺 派で、批判・反対意見のほうが多い。 方面での実績者十二人の見解ととも し文句が効いたのではないかと思わ 差しで見直すと、過去の登頂記録の に再掲された。完全な同調者は少数 やはり「全員生還という新しい物

をあげている。 反対派は大きく分けて二つの論拠

るものだ。 りかえは絶対に許されない)」とす その登山は失敗である」に対して、 である(したがって記録の地図の塗 にかかわらず、記録として残るもの 事実であるから、登山の成功不成功 を含めた行為であり、下山で死ねば、 登頂というのは厳然とした歴史的 一つは、筆者のいう「登山は下山

スポーツとは一概に一緒にはできな もう一つは、筆者が登山を「競技

> を述べたい。 という趣旨の反対論である。 じく、登頂の記録は変更できない」 という趣旨の提言に対し、「登山は は登山は健全なスポーツであろう」 いけれど、客観的評価の対象として ・探検の記録を変更できないのと同 冒険であり、探検であるから、冒険 この二つの論点に対する私の考え

ついて。 まず、第一の登頂と登山の関係に

他国人のサポーターであろうとなか る、と考えなくてはならない。 が生きて下山した時に初めて成立す だから、人間による登頂は彼(彼女) したことにはならない。 完成の登頂はとりもなおさず、登頂 ろうと、その登頂は完成しない。未 も生還できなければ、たとえそれが 登頂とは人間による登頂である。 人間としての共同行為者が一人で

いう意見に対して、 いう言葉は登山というヒューマンな す誤りから生じた語意矛盾であろう。 行為から登頂だけを無機的に取り出 と思われる「登頂のあった失敗」と 次に、登山は冒険・探検であると 筆者の妥協的産物として出てきた

アクセスできる時代には、作り出さ ヒマラヤの高峰でもヘリコプターで のどこも軍事衛星で丸見えの時代、 人類が月に到達する時代、地球上

がした。新しい土地、新しい居住空 的な意味での冒険・探検はあり得な の管理冒険はあっても、もはや本来 あった。すなわち、その目的さえ全 的繁栄をもたらし、人口増加をうな の発展は先進国における一途な物質 もはるかに重い意味を持つと思う。 おいては、死は行為の目的達成より いだろう。そして、疑似冒険行為に れた探検気分や、安全監視網の中で として是とした時代があった。 ある。高所登山をその延長線上の夢 として評価され記録され得た時代で なくても、人類共通の価値ある業績 うされれば、例え発見者が帰還でき のものが独立した目的として意味が て必要不可欠な価値があり、発見そ 間の発見は先進国人類の発展にとっ 十九世紀以来最近まで、科学技術

的な趣味行為に収斂された。 これにより、登山はおしなべて個人 壊をもたらした。人々は夢を砕かれ、 に維持・保存させるかにシフトした。 目標が進歩・発展から、環境をいか 大気・海洋汚染による生活環境の破 現代はどうか。その物質的繁栄が

られた集団内でのランク付け的意味 合いを濃くしつつあるのではあるま のもとで、高所登山志向者という限 れらはその意に沿ったマスコミ報道 なくなった。夢を失ったことで、そ 初登頂や記録は人類共通の夢では

せてくれるヤブ山登山、心身練磨的 なのではあるまいか。 く放出することこそ、先蹤者の責務 経験から得た知識・技術を惜しみな 高年のマス登山を前向きに受容し、 る記録にこだわるよりも、現在の中 もはや、過去の高所聖域登山におけ れ側の態勢不備に原因があるようだ。 やすいマイナス面のおおかたは受入 蔵していると思う。とかく沙汰され あると同時に大きなプラス要因を内 スポーツ登山、自己挑戦オタク型の 日本の登山史におけるこのエポック ると思う。そして、これからの大き ど、すべて広義のスポーツ登山に入 登山、ポックリ死にたい健康登山な 海外高所登山、レジャー型海外観光 な潮流は中高年者の健康登山である。 メーキングな移行は歴史的必然で 現代の登山は疑似探検気分を味わ

進む方向(大衆)が決めるもので、 方向が変われば、評価も変わる。 変のものではない。評価は世の中の 過去の実績に対する評価は永久不

もしれないが、それはあくまでも他 のは存在を否定されるようで辛いか 変わることなく残り、精彩を放ち続 であって、自分自身の実存的行為は 者による自己への評価が変わること べき高所登山の記録が葬り去られる 自己のアイデンティティともいう

けると思うべきである。

咲くわけがない。 単刀直入に言わせてもらったが、常 その覚悟があったという理屈は遺族 ば登頂もへったくれもないと思う。 識的に考えても、連れに死人が出れ の関係者とのしがらみもない者ゆえ、 頂記録の割り込む余地はないだろう。 には通用しない。そこにハンパな登 してない。死亡した当人に多少でも 責や酌量を許されるべきものでは決 発生した死亡事故は高所を理由に免 私自身は高所登山に縁がなく、そ 死んで花実(登頂という果実)の 現代の趣味スポーツ登山において

# 新島・式根島第六回海外遠征隊

なった。 島・式根島で七島目を終えることと 七島を毎年一島ずつ回り、今回の新 が発足した。三宅島から始め、伊豆 を行うことを企画し、「海外遠征隊 名のJACの仲間とともに島めぐり 六年前、私の父・故入澤郁夫が数

り興味がなかった。しかし、父の没 父が亡くなる前は、私自身山には余 事故で父を失ってしまったわけだが、 一昨年に起こったヒマラヤの遭難

> ることになった。 島行きから父の代わりとして参加す をかけてくださり、昨年の夏の八丈 後、仲間だったJACの皆さんが声

向かった。 トル)を登頂後、渡し船で式根島へ ど影響もなく、宮塚山(四二九メー 島に到着。心配していた天候もさほ かなり揺れたが、翌朝、予定通り新 した。船上では波が高かったせいで 例年通り深夜近くに竹下桟橋を出港 陸するという悪条件にもかかわらず 式根島行きは、台風八号が九州に上 六月二十七日~二十九日の新島

京へ帰ることができた。 航が決まった臨時便により、無事東 風の影響で欠航していた船も急遽出 九メートル)に登った。前日まで台 翌二十九日の朝、カンビキ山(九

くことだろう。 はいろいろな島めぐりを企画してい を達成できたが、今後も海外遠征隊 今回で伊豆七島めぐりという目標

入澤武昭

# 野鼠との遭遇

降雪は年が明けてからである。標高 一〇度にもなるが、年内は雪もない 八〇〇メートルにある雲取山荘で 冬の雲取山を歩く。厳寒時は零下

ず、静寂が走る。これはアカネズミ 性とはいえ、暗闇をなぜそんなに速 かヒメネズミである。野ネズミの習 ゆく低い音に目が覚める。山荘はラ という近くにやってきて遠ざかって 暖まり、昼間の歩き疲れに寝入って も泊まるのだが。炭火の炬燵に一人 いない。新緑や紅葉の季節は三百人 は、年末の時期、登山者はほとんど え感じるのである。 く走れるのかと思う。生命の息吹さ ンプが消えると真の暗闇で何も見え しまうと、深夜「たったったったっ」

さんの話では、一時期ドブネズミが が捕獲される。山小屋の新井信太郎 ると、アカ・ヒメそれにヤチネズミ 近では、シャーマントラップをかけ たが、空気銃で仕留めたという。 下から荷物に入って来て出没してい 小屋周辺の田部重治のレリーフ付

捕獲されることもある。 う思うのだが、識別できない個体が ネズミに相が変わる。秩父山系では、 同物異名という説が有力である。そ している。カゲ(鹿毛)はスミスの 目のトガリ・ジ・ヒミズなどが棲息 このほかスミス・ハタ・カヤ・食虫 亜高山帯以上はアカ・ヒメからヤチ ら野ネズミが入ってくる。天敵に襲 われることもなく安全だからだろう。 どの山小屋でもそうだが、周辺か

山道を歩いていて気づくのはヒミ

暗き山道

#### 大台を行く 短歌

宇都木慎-

#### 村田彰一

上枝はるか唐檜連なる大台の苔むす 道に鶯の声 大台の山路下れば石楠花の赤き花群

朝霧の吾が足音に驚きて白き尾立て て鹿の跳ね行く

新緑に映ゆ

急峻の山路辿れば吊り橋のかかれる 沢に涼風ぞ吹く

りせなばいやに楽しも 山深く千々に聞こゆる百鳥の名を知

緑に色を添えつつ 沢の辺にひそと咲きたる藤の花若き

山鳩の啼く声近きブナ林千古の老檜

台下り入乃波に入る 三里をばかばい杖曳きようように大

> は鼠咬症やワイル病、あるいは恙虫 りと流れる。ネズミはげっ歯目だと まれた。「チクッ」として血がたら ネにネズミを見せると興奮するが、 特有の臭気のため嫌って放し、置き キツネなどが咬みついても、 ズ類の斃死体が多いことだ。これは き日の勲章かもしれない。 わかる。これは野ネズミがくれた若 た指の部位は多少白変し自分だけに と考えるのである。今日でも咬まれ 病に感染しなかったのは幸いだった 直感したのである。今にして思うに 持ちかえったとたん、右の薬指を咬 ネズミを素手で捕まえたことがある。 ヒミズを見せても知らんふりをする。 去りにするためという。実際、キツ 若き日、富士の裾野の原野でハタ 日本の自然をしっかりと知れ、と 食虫目

いうことなのである。 当たる。

モースの所蔵写真 ウエストンと

田畑真一

られるアメリカの動物学者である。 写真を調べているうち、 た。モースとは大森貝塚の発見で知 モースも所蔵していたことがわかっ これを『ウエストンの見た明治・ ウエストンが所蔵していた多数の 同じ写真を

られざる日本を旅して』長岡祥三氏

著書には

「田に水を引く農夫」(『知

に発行されたウエストンの三冊目の

業し、ケンブリッジへ入学した年に 見ると「羅宇屋 ca.1880」(田畑注) 写真を『百年前の日本―モース・コ 説明もある。モースが所蔵した同じ 吸い口をつなぐ竹の管のこと」との だけである。羅宇はキセルの火皿と である。続いて「今では記憶に残る 日本語解説書)との説明がある写真 まず「キセルを修理する羅宇屋」(同) の見た』と略称)によって見ると、 員会・杉本誠氏著、以下『ウエストン ウエストンは英国のダービー校を卒 『百年前の日本』と略称)によって レクション写真編』(小学館、以下 大正の日本』(ウエストン展実行委 八八〇年ころ)との説明がある。 八八〇年(明治十三年)というと、

ごろに当たる。初めて富士山や祖母 山へ登頂したころにも当たる。 エストンの初来日から数えて二年目 明がある。一八九〇年というと、ウ によって見ると「菊人形 ca.1890 真である。これを『百年前の日本』 ストンの見た』)との説明がある写 優、市川八百蔵の菊人形」(『ウエ 田畑注、 また、「平清盛に扮する歌舞伎俳 さらに一九二五年(大正十四年) 一八九〇年ころ)との説

> 中だった。 説明がある。一九〇〇年(明治三十 写真であり、『百年前の日本』によ って見ると「踏車による灌漑」ca. 三年)というと、ウエストンは帰国 1900 (田畑注、一九〇〇年ころ)との 新人物往来社)との説明がある

何らかの経緯により、ウエストンが といって、モースが所蔵した写真を いと思う。 所蔵するようになったとは考えにく 以上、三枚の写真である。だから 当時、世に出ていた同 一の写真を

蔵していたと考えたいが、 ウエストンとモースがそれぞれに所 ものだろうか。

#### ヒマラヤが身近になりました。チャーター

名古屋☎052(581)3211 福岡☎092(715)1557 化史の切なさと逞しさ。 あって異世界にあこがれる、 芸史の中に克明に跡づけた。 スをキーワードにして、近代日本文 島国に

影の酔い心地」を、宮下氏はアルプ ンであってほしい。この「美しい幻 京は長安、左京は洛陽、隅田川はセ ても、やはり魂あってこその才、右 ときに和魂洋(漢)才がせめぎあっ から中国文化の心酔者がやってきた。

ーヌの流れ、槍ヶ岳はマッターホル

#### 紹



イラスト 野田四郎

# 「日本アルプス」

山をアルプスに見立てるしかない。 る目を日本に適用するには、 かちがたく結びつく。アルプスを見 は登山もあって、これは風景論と分 見立ての文化史」という副題がい 似たようなことは千五百年ほど前 近代日本が導入した西洋文化に 日本の

#### 『ピッケルと口紅』 北村節子・業 女たちの地球山旅ー

山行エッセイである。 今日までの世界の山々を舞台にした エベレスト登山許可が下りた頃より た上で一冊にまとめたものである。 から一年間連載されたものに加筆し 女子登攀クラブに、一九七三年、 本書は「岳人」に一九九三年五月

とのインタビューを接点に遠征隊に その過程が、軽快な文章でつづられ 加わり、登山にのめり込んでゆく。 記者であったが、エベレスト遠征隊 当初、著者は入社早々の新米新聞

併読をおすすめする。 |五〇ページ 二千五百円(税別 九九七年五月 一郎氏の『東西登山史考』と みすず書房発行 (平井吉夫) おり、迫力十分である。 の人間関係などが赤裸々に描かれて では、登頂を目指す極限状況の中で ている。

とくに第一章のエベレスト

を素直に理解することができる。 たそれを支えた裏方の著者との友情 の世界的偉業を成し遂げたのか、ま 田部井淳子さんが、どんな過程でこ あり、世界七大陸最高峰を踏破した 世界初の女性エベレスト登頂者で 田部井さん、よき岳友を得られて

一九九七年三月 東京新聞出版局 (茂見 猛

発行 二二三ページ 千四百円

して他人には言えない苦労も多かっ だけを淡々と書いているが、隊長と めている。こうした登山記録は事実 メートル峰の登頂に次々と成功を収

ムダは何一つなかったと断言するこ たはず。ただ、人生どんなことでも 幸せですね、と感じる一文である。

湯浅道男・著

### 「たかが山登り されど山登り

機関紙などに発表してきた山に関す 著者が長年にわたって山岳雑誌

くの人の共感を呼び、様々な困難を も前向き、プラス思考の生き方が多 とができる。と言える著者の、何事

#### 原稿掲載について

- 会で購入あるいは、寄贈されたル -ムにある本を紹介する。
- 毎月の図書委員会の折に会報「図 書紹介」委員で検討し、紹介する 本を決める。
- 紹介依頼者を決め原稿依頼をする。
- 著者からの依頼で書いてくる方、 ご自分でよいと思った本の紹介を 書かれてくる方などがあると、 員会で依頼した方との原稿が重複 ことがあり、原稿をお願いし た方に失礼に当るので、会報「図 書紹介」担当の細井が調整させて いただいています。
- 紹介スペースに限りがあり、原稿 の長さを指定させていただいてい ます。

以上のような手順で紹介させてい ただいておりますので、よろしく お願いします。

紹介されなかった寄贈本について 受入れ報告という形をとらせてい ただいております。

(細井澄子)

冊にまとめたもの。

随想、

記録などを

「学問と山」に収められている、

エベレストサウスピラーなど、八千 としてエベレスト、ブロードピーク、 見事登攀に成功している。現役を退 に日本人クライマーとして初挑戦し、 ヨーロッパアルプス・ドリュの北壁 外渡航が自由化されると、いち早く 深めてゆく必要を感じさせる。 照らし合わせて検討している。これ 法律学者でもある著者が、過去の遭 事故をめぐって一と題する評論は、 ポーツ事故と法的責任―とくに登山 くと、今度は遠征隊を組織し、隊長 られ、心満たされる思いで読んだ。 短い人物評ながら、追悼文をも含め あった登山家を書いた「山と人」は、 は多くの人に読まれ、問題の議論を 難事故と裁判の判決例を一つひとつ て著者の人を見る目の暖かさが感じ 「記録」は全く素晴らしい。戦後海 辛口の評論に対し、付き合いの

乗り越えて目標を達成させる力にな たのであろう。 五八ページ 二千五百円 九九七年四月 成文堂発行 (岩瀬晧祐

### 石井光造・業

# 『山を楽しむ地図読本』

現在地と行くべき方向を示してくれ イドブックの骸骨図のコピーだけと 図を持たずに山を歩くなである。ガ る便利な時代となった。著者は「地 図があれば現在地を知ることができ てもGPSは緯度、経度を表示、 る。車の走れない山中、僻地であっ とは少なくとも行く山への興味や知 いう人が意外に多い。地図をもつこ 山奥を走っていても、カーナビは

引なども掲載。 点なども具体的に記述している。巻 と川に関する記号、山座同定や三角 画を立てるための時刻表や縮尺と距 めの地図の読み方からはじまり、計 を中心に解説している。山歩きのた せた「日本山岳絵図」と写真入りの を探し楽しめるように、山を浮上さ を知って歩きたい」と述べている。 歩誤れば死が待っているということ 識があることだからである。山は一 末に主な国の五万分の一図、山名索 離、現地での登山口の探し方から谷 計画立案時の利用法、実践的な知識 「主要山岳イメージマップ」があり、 一九九七年五月 本書は入門書として、まず登る山 東京新聞出版局 (三沢一三)

発行一七四ページ 千三百円(税別

平成九年度 助成登山計画募集 海外登山基金

海外登山基金委員会

領で行います。ふるってご応募く る助成登山計画の募集を左記の要 平成九年度の海外登山基金によ

年一月末に出発する登山隊。 平成十年二月一日~平成十

申込締切 平成九年十二月二十日 申込方法 所定の様式(本会事務 審査並びに交付の時期 平成十年 までに交付します。 付して申請してください。 局に請求してください)に記入 大小は問いません。 会員の推薦があれば隊の規模の 事会で決定、二月中旬~三月末 し、登山計画書(十五部)を添 月中に審査を行い、二月の理 百万円

#### 自然環境とのつきあい方 『山とつきあう』 岩田修二・著

てヒマラヤのクンブ地域では、観光 るとして厳しく追及している。そし 護岸の名の下に自然破壊を招いてい 述べる一方、周辺の河川改修工事が のケショウヤナギの群落するわけを 長年の調査を解説。上高地では梓川 と融解での砂礫の移動する様子など では砂礫とお花畑の関係から、凍結 雨・温度などを分析している。白馬 と崩壊の危険を避けるために季節・ 学術書としての内容である。 関係書籍・文献が紹介されており、 の自然を語る入門書だが、巻末には 穂高では岩壁の自然を紹介、落石 国内外の代表的な山岳を通して山

切である、としている。(林 栄二) 然破壊を許さないといった気心が大 かけるような山を持ち、その山の自 化と生活も破壊されてしまうという。 よって、自然が破壊され、地元の文 手にいれようとする政治家や団体に 心としてきた。そして利益の一部を かを選択させられれば常に生活を中 による森林破壊と文化の変化を語る。 人は自然を守るか生活向上を選ぶ 人ひとりの登山者はいつも気に 四六ページ 千四百円 (税別 九九七年五月 岩波書店発行

> リヒャルト・ゲーデケ・著 島田荘平/島田洋子・共訳 『アルプス4000m峰 登山ガイド」

史とコースガイドを要領よく記述し アルプス観光旅行に携えるのに向い の登山ガイドをドイツ語版から翻訳 峰併せて百五十峰のうち六十峰ほど イドブックの参考になる。写真と概 ているが、難易度や危険と魅力につ む際の参考書としても役立つ。登頂 ているし、アルプス関係の書物を読 ル峰に登る人が多いとは思えないが、 したもの。これを使って四千メート 念図も豊富で、高峰登山の楽しみを いての項目の立て方が日本の登山ガ ヨーロッパ・アルプスの主峰・支

家が少なくない。改版の際にぜひ修 陽気で冒険好きなフランス男タルタ 家ドーデの作品の題名がおかしい。 は惜しい訳書だからだ。(宮下啓三) 部分での誤りによって信用を失うに 正してほしい。登山に直接関係ない 品の一つであることを知る登山愛好 ランを主人公にした三つの有名な作 ユングフラウの項目でフランスの作 翻訳であってくれると思えるのだが、 肝心の山岳に関しては信頼できる 三三ページ 千九百円 (税別) 九九七年四月 山と溪谷社発行

#### 書籍受入報告(1997年7月)

著 者	書 名	ページ・大きさ	出版元	出版年	寄贈/購)
橋本確文堂企画出版室(編)	北陸の湖沼: Toyama, Ishikawa, Fukui	143pp/26cm	橋本確文堂	1997	出版社寄贈
福岡市山岳協会(編)	福岡チョモランマ登山隊1996報告書	190pp/31cm	福岡市山岳協会	1997	発行者寄贈
<b>藤田健次郎</b>	中高年、山と出会う:登山ブームの考現学	285pp/19cm	山と溪谷社	1997	出版社寄贈
<b>京真</b>	快楽登山のすすめ	264pp/19cm	東京新聞出版局	1997	出版社寄贈
也内紀	見知らぬオトカム: 辻まことの肖像	229pp/21cm	みすず書房	1997	出版社寄贈
串田孫一 他(共編)	白馬岳 (日本の名山 第6巻)	258pp/20cm	博品社	1997	出版社寄贈
<b>5林英郎(編)</b>	草原と氷河を越えて:モンゴル・フィティン峰登山隊報告書	70pp/26cm	三重県高校登山部	1997	発行者寄贈
<b>築永哲(監修)</b>	知っておきたいアウトドア危険・有毒生物安全マニュアル	152pp/22cm	学習研究社	1997	出版社寄贈
<b>本多勝一</b>	六十歳の記念に登った山山	256pp/22cm	悠々社	1997	出版社寄贈
百澤信雄	ブナの森から都会が見える: みちのく朝日連峰山だより	254pp/19cm	山と溪谷社	1997	出版社寄贈
古林賢恒	丹沢自然ハンドブック:都会のオアシス・その魅力をさぐる	214pp/18cm	自由国民社	1997	出版社寄
」岡人志(編著)	崑崙山脈ハーン・ヤイリク峰偵察1995報告書	32pp/26cm	山岡人志(私家版)	1995	発行者寄贈
」岡人志(編)	砂塵の彼方へ: 崑崙山脈ハーン・ヤイリク峰初登頂の記録	102pp/26cm	山岡人志(私家版)	1997	発行者寄
<b>野沢恭二</b>	淡彩の尾瀬:スケッチとエッセイ	95pp/21cm	日貿出版社	1997	出版社寄
、島俊一	岩手の山名ものがたり	343pp/19cm	熊谷印刷出版部	1996	出版社寄
並区役所山岳部 (編)	遙かなりヒマラヤ:杉並区役所山岳部創立30周年記念特別号	122pp/26cm	杉並区役所山岳部	1986	発行者寄
藤昌美(写真)C. W. ニコル(文	) 釧路湿原 (写真集)	95pp/27cm	時事通信社	1997	出版社寄
尾啓介	地図で歩く鉄道の峠	238pp/19cm	けやき出版	1997	出版社寄贈
丹橋明賢	山を想う:学習院山岳部・三つの訓え	254pp/22cm	学習院山桜会・有志	1997	発行者寄贈
<b>店成勇(編)</b>	江戸時代「古地図」総覧 (別冊歴史読本・事典シリーズNo. 32)	428pp/21cm	新人物往来社	1997	出版社寄贈
富島正明	中高年登山「なんでも」百科	342pp/19cm	東京新聞出版局	1997	出版社寄贈
官澤邦一郎	尾瀬100年:登山と自然保護	441pp/22cm	煥乎堂	1996	出版社寄贈
<b></b>	浅間山風土記(増補改訂版)	261pp/22cm	煥乎堂	1984	出版社寄
Valter Bonatti	Magia del Monte Bianco	207pp/35cm	Massimo Baldini	1988	著者寄贈
Harish Kapadia(ed.)	The Himalayan Journal (Vol. 53, 1997)	360pp/22cm	Oxford Univ. Press	1997	発行者寄贈

ウエストン牧師姿写真の撮影許

### 【七月理事会】

伊丹、絹川、勝山、村井、飯田、増 川、中村各常任評議員 石橋、神﨑各監事、平山、 山、森、大蔵、宇田川、宮崎各理事 竹内各副会長、大屋、吉永、田邊、 [出席者] 斎藤会長、小倉、大森、 七月九日(水) 十八時三十五分 日本山岳会会議室 **~二十時三十分** 穴田、中

十一月十五~十七日熊本市で開催

【審議事項】 長尾、平野各常任評議員 **委任**] 熊崎、鯵坂、坂本各理事、

場十二年目の結論~」放映(関東首 協力要請が㈱さくらんぼテレビジョ ジテレビ山形支局の「さくらんぼテ ヌワシ取材協力に対するお礼と、フ にあたり、四年間にわたる本会のイ 地区▼七月六日・十三時五十五分) 都圏▼六月二十八日・二時、 然保護委員会・山形さくらんぼテレ → 鳥海山テレビ放映協力の件(自 ン報道制作部長名によりなされた。 レビ」新局開設移管に伴い、今後の 「イヌワシの棲む山~鳥海山スキー 山形県

> ションよりなされた。 使用許可願が㈱東海テレビプロダク 研内の肖像レリーフの写真撮影及び 会」後援依頼の件 =高山~上高地」の中で、ウエスト 東海プレゼンツ ふれあい見つけ旅 ンと上高地のかかわりの部分に、山 七月十三日印放映予定番組 第十回「森と自然を守る全国集 JR

(五) 会長に出席をお願いする。 席要請の件 局より後援依頼がなされた。不承認 の右記集会に、三十五団体連盟事務 四「戸隠ミセス・ウエストン祭」出 隠村長名で参加要請があり、 八月三日印十時開催の式典に、戸 ネパール・トレッキング計画の 小倉副 承認

再審をお願いする。 来年秋期を目途に、来春一~二月に キングの要望があり、各支部に照合 計画などもあって今秋の実施は無理 加希望があった。チャーター機使用 の結果、短期間に六十名を超える参 会員サービスの一環としてトレッ 「登山の日」共催団体参加依頼の 継続審議

運動を続けている紐日本アルパイン

登山の日十月三日」を祝日に、の

委員 委員長 する。 営委員会委員は以下の十一名に委嘱 本会としても賛同する。 ・ガイド協会より参加依頼があり、 平成九・十年度海外登山基金運 竹内哲夫 大森薫雄 (新任) (新任) 副会長 副会長 承認

増山 神長幹雄 伊丹紹泰 吉永英明 大屋悌二 茂 (留任 (留任 (新任) (留任) (留任) 財務 総務 高所

山本宗彦 (留任

中村 本郷三好 (新任 (新任

事務局 (11) 登山隊名義使用の件 の登頂 カンチェンジュンガ主峰(八 五八六メートル)の北面から ンジュンガ登山隊一九九八」 「日本山岳会青年部カンチェ 高所登山研究委員会 貫田宗男 (新任) 宇田川 承認

でよいのではないか。いったん、事 後、支援体制を強化しての登山活動 日程 外登山に対する議論があったが、今 ュンガと、青年部委員会単 K2、ダウラギリ、カンチェンジ 一九九八年三月上旬~六月中 (日本側) 一での海 承認

> は当然である、との会長見解が示さ が起きればJACとして対処するの

# 【報告·連絡事項】

り新宿「中村屋」レザミ5Fで開催。 談会を七月十五日火十八時三十分よ 日本山岳会/日本山岳協会交流懇 名誉会員を囲む会/八月六日火 上野の科学博物館で七月十八日~ 南極大陸展の件 評議員会/八月二十六日火 平山常任評議員

十一月末日まで開催 山岳史懇談会「E・ヒラリー卿を 報告「山岳界の現況」 新任理事 「研修とレクチャー」に

囲んで」の出席確認について

#### 都内に3店舗6 ご会合にご利用

構成

隊長・谷川太郎を含む十二名



TEL.03-3816-4161

### 【委員会報告】 図書管理委員会・飯田

②図書室の利用状況把握のためアン 置き場に使用したいので、ご了解を。 ケートを実施している。ご協力を。 を寄贈していただくことになった。 ①片山全平氏のご遺族より山岳図書 十月初旬に引き取るが、整理のため か月ほど一〇四号室の片隅を書籍 一百八冊 洋書百三十四冊

会報編集委員会・村井

プロ原稿も同様)。 ②書き方 縦書き十六字詰め くようにご配慮を。 の四十日前、前月の十日(例えば十 ①原稿締切り 月号掲載の場合は十月十日) 発行日(毎月二十日) ワー

③送り先 **十**一九四 村井 町田市森野三—二—

募集中。心当たりがあればご紹介を。 ④記事中広告(八分の一ページ)を | ○四二七一二三一五五三八 ・〇四二七一二四-六六〇六

る。

多数の出席を希望する。

回・一万円

年間契約・八万円

物故

会員異動

加藤達三

郎

(九八八二)

8

12 .

13

24

日

①委員を対象としたショート・レク ャー「日本山岳界をとりまく国内 海外連絡委員会・伊丹 七月十四日、本会ルームで開催

②活動方針の策定

飯坂由美子

(八〇四九)→小倉

外の環境」を神崎忠男委員が行う。

岡吉二 退会

郎

七五三)

9 . 7

31

③今後の行事予定、 ●高所登山研究委員会・伊丹 その他

絹川

①委員顔合わせ。 八月一日、 本会ルームで開催。

③活動方針の策定。 ②高所研究委員会の意義・目的。

④「八〇〇〇メートル峰公募登山

ギリ 一峰、カンチェンジュンガ)。 ⑤青年部の登山計画の検討 の是非。 (ダウラ

# ●遭難対策委員会

開催される。担当理事・熊崎が出席。 成九年度全国山岳遭難対策協議会が ・日本山岳会・重廣恒夫会員の講演 いて警察庁、文部省ほかの主催で平 中高年登山者の安全対策に重点。 七月九~十日、宮城県仙台市にお

> 10 9

H

\*全国支部懇談会は九月二十日出 一十一日日、越後支部主管で開催す 宮城県警察による事故対応事例の 報告、など。 5

16

日

の会

全国の都道府県警察から事故統計

資料の発表。

#### 6月

1

2 日 日 フィルムビデオ委員会 アルパインスケッチクラブ アル

常務理事会 パインスキークラブ 山学研

書委員会 総務委員会 資料委員会 义

7 3

日

日

二火会 アルパインスケッチ

8

日

クラブ 95同期会

理事会 93同期会

資料委員会 海外委員会 フォトビデオクラブ ルパインスキークラブ 集会委員会 学生部

14

日 日 日

フィルムビデオ委員会 山研委員会 史委員会 青年部 三水会 山げら 百年

15 日

22 日 18 17 H 青年部 自然保護委員会

青年部

開山

日

科学委員会

学生部

23 日 山の自然学研究会 岳編集委員会

アルパインスキー 緑爽会 集会委員会

H

7月来室者68名 クラブ 資

料委員会

装いも新たに再登場。 ◎旧版の改訂と新資料の大幅増補をし、 ◎特別資料として播隆筆「鎗ヶ嶽繪圖」(別刷カラー版)を添付。

#### 槍ヶ岳開山170周年記念!

天保年間に日本の高山、笠ヶ岳・槍ヶ岳・穂高岳を開山、 とりわけ五回に及ぶ槍ヶ岳登山では、仏像を安置し 槍の穂先に善の綱をかけるなど、宗教者としてはもちろん、 ズムの先駆者ともいえるその業績は、日本の登山史上類をみ ものである。本書は父子二代、半世紀にわたって足で調べ上げた な資料を駆使して綴る、岳人、宗教人待望の播隆上人 である。 A5判·上製函入·334頁

#### 穂苅三寿雄・貞雄 著

書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文下さい。TEL03-5999-5434

〒101 東京都千代田区神田錦町3-24

修館書店

(14)

#### Ш お待たせしました



#### INFORMATION

## ◆岩登り技術研修会開催 指導委員会·遭難対策委員会

技術修得を目的として行うものです。 利用した、岩登りのための総合的な 屈指の規模を誇る屋内外の人工壁を いての確保技術訓練を中心に、国内 ターと連動した衝撃荷重測定器を用 で開催します。文登研のコンピュー とくに大学山岳部などで指導的な 岩登り研修会を文部省登山研修所

立場にある方の積極的な参加を期待 方であれば参加を受け付けます。 しています。初心者でも意欲旺盛な

十月二十四日俭~二十六日间

場所 ①制動確保に関する理論講義 文部省登山研修所(富山県) 中途参加も可

④危急時における対処方法 ③スポーツクライミング実技 ステムの構築と実践 ②トータルプロテクションシ と実技訓練

> 費用 柳沢昭夫(登山研修所所長) 恩田真砂美(上智大学OG 熊崎和宏(指導委員会理事 渡辺雄二(登山研修所専門員 二万五千円(宿泊費・食費を ⑤その他

宏宛 町三―五―二四―三〇二)官製葉書 \*詳細な要項資料の希望者は熊崎和 でお申し込みください。 (〒一八○ 武蔵野市吉祥寺北 含む)\*学割あり

### ▼第五回「山を語る」 図書委員会

日時 をめぐる山々を語っていただきます。 その未知なる山域、とくに梅里雪山 ィン川最上流に展開する横断山脈、 氏に、揚子江、イラワジ川、サルウ 『ヒマラヤの東』の著者・中村保 分~二十時 十月二十四日金 十八時三十

場所 ▼山とスキーの映画の夕べ 日本山岳会集会室

みませんか。 る本格的な山とスキーの映画を楽し ビデオ版でなくフィルム映画によ

フィルムビデオ委員会

場所 日時 プログラム ①光と風の記憶―劔・立山連峰 (山と溪谷社・東京福原フィルムス 十一月五日休 山岳会ルーム 十九時上映

提供・四十五分)新作

シンポジウムとコンサート

(スイス政府観光局提供・二十四分) 五百円

# ◆石川支部創立五十周年記念行事 石川支部

創立五十周年記念式典 領で記念行事を行います。 節目を迎えました。そこで以下の要 回国体を機に創設され、満五十年の 当支部は昭和二十二年 月の第一

12・〇七六一二三四一五五五五 金沢シティーモンドホテル 十月十八日出十六時~ 金沢市橋場町ニー

内容 ①記念式典·講演会 十六時 一万円 ②講演「還暦のシシャパンマ ③記念パーティー 講師・斎藤惇生会長 十分~二十時三十分

日時 会費 創立五十周年記念登山 九時・白山比咩神社鶴来バイ 奥獅子吼山(九二八メートル 十月十九日间 パス駐車場(ホテル宿泊者は

\*昼食は各自ご用意ください。 コース(ロープウエー)獅子吼高原 ロープウエー往復千五百円 ~奥獅子吼山(歩行約二時間 十四時解散

八時ホテル出発)

2SKI FANTASIS 自然保護委員会

護を考える」集会を開きます。 る神奈川県藤野町で「登山と自然保 来年、国体山岳競技の開催地とな 十一月二十二日出 十三時三 県立藤野芸術の家(JR中央 線藤野駅下車、バス十分) 十分~十七時

①コンサート「大自然と共に生きる 人々の歌」 高野太郎·佐野民枝

\*入場無料(資料代三百円) ②シンポジウムのパネリスト 高室陽二郎(山梨岳連会長) 原 一平(日山協国体委員長) 小倉董子(日本山岳会会員

会などを設営。翌二十三日印観察山 夜はマンドリン合奏、学習会、懇話 \*なお、当日の宿泊も受け付けます 問合せ ハガキで日本山岳会自然保 費用は一万円(一泊二食弁当付き) 行・登山を予定しています。 護シンポ係。詳細案内を送ります

山 日本山岳会会報 628 号 1997年 (平成9年) 9月20日発行 社団法人日本山岳会

都千代田区四番町5-4

村井 葵 株式会社 双陽社